



【探求課題】

下記問6問題と解答をご覧ください。ここでは、現在の少子化問題を地域のこどもからおとなまで全員参加によるまちづくりによって解決するヒントが示されています。国語に始まり、課題として与えられる社会・理科を算数をエビデンスとし、他人の意見を参考にしながら、自分の考えを纏める最先端コミュニケーションスキルと環境づくりについて、親子で考え学びます。

問6 中江兆民が活躍した時代には、世界との関わりは国が中心になると考えられていました。しかし今では、わたしたちは一人ひとりの個人として世界の中で活躍していくことができます。君はこれから、どんな態度で世界の人びとと付き合っていきたいですか。中江兆民の考えも参考にしながら、君自身の考えを書きなさい。

●模範解答例 <声の教育社 武蔵中学校入試と研究より抜粋>
中江兆民は民族や国はみな平等であると説き、たとえ小国でも独立を達成できる世界を作ることが大切だと述べている。これは、個人として世界の人々とつきあって行く時にも言える事だろう。世界にはさまざまな人たちが生活しており、多様な風俗習慣、伝統や宗教、ものの考え方などを持っている。そういった人々と付き合う場合、一方的に自分たちの価値観を押し付けるだけでは、相手との間に、信頼関係を築けないし、かえって反発を招くことにもなりかねない。国際化社会が進み、日本と外国との間で人々の交流が頻繁に行われるようになった現代だからこそ、相手の事を理解し、お互いを認め合い、尊敬しあえるような付き合いをする事が大切だといえる。

【テーマ】

この問題に答えられるお子さんが育った家の環境について、キッチンを中心に、五感をキーワードに、こどものコミュニケーションの発達プロセスとあるべきキッチン空間について考えます。

※こんな方にお勧めです

現役子育て世代の皆さんは勿論、お孫さんのいらっしゃる祖父母の方、教育に携わる専門家のみなさん、教育を専攻する学生さん、子育てOBの方でご自分のご経験を活かしたいとお考えの方など多くの方の参加を期待しています。



四十万靖 YASUSHI SHIJIMA 1959年生まれ

一般社団法人四十万未来研究所代表理事・スペース・オブ・ファイブ株式会社代表取締役

1982年慶應義塾大学経済学部卒業、伊藤忠商事入社。建築建材、日米構造協議、ライセンス&サブライセンス

地方創生事業を担う。慶應義塾大学、武蔵野美術大学、女子美術大学、東京大学にて産学連携実績多数。

2006年に上梓した「頭のよい子が育つ家、がベストセラー。探求学習第一人者。

2019年以降文部科学省リカレント教育・society5.0・DX人材教育プログラム開発と実施委託事業主幹

●一言メッセージ

自分のこども、孫に説明できない事は致しません！

【公開講座概要】

■日時：令和5年2月4日（土）14:00～15:30 受付開始：13:30

■場所：エコルとごし3階多目的スペース

■講座料金・オリジナルテキスト代：¥3,300 ※小学生以下無料

<振込先>

楽天銀行第二営業支店 口座名義：シャ) シジマミライケンキュウジョ 口座番号：7278310

■ご用意頂くもの：筆記用具

■定員：50名（小学校3年生以上保護者同伴で入場可）

■お申込み・お問い合わせ：<https://shijima-mirai.or.jp/form/togoshi/>

■申込期限：令和5年2月3日（金）9:00までに講座料金をお支払い下さい。

■主催：一般社団法人四十万未来研究所 <http://shijima-mirai.or.jp/>



【空間工学理論スコアリングによる学習環境設計】

before 40/100



4年2組のうしろの黒板くん
<https://4nen2kumi.com/>

<事前学習問題>

キッチンの位置のちがいが親子の会話に与える影響について考えてみましょう。

ヒント：子ども目線で見えるキッチンのお母さんの姿はどの様に見えるでしょうか？



after 68/100

